

Cadenza CD-C18

250 x 4.6 mm

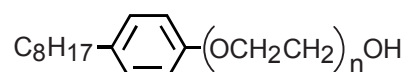
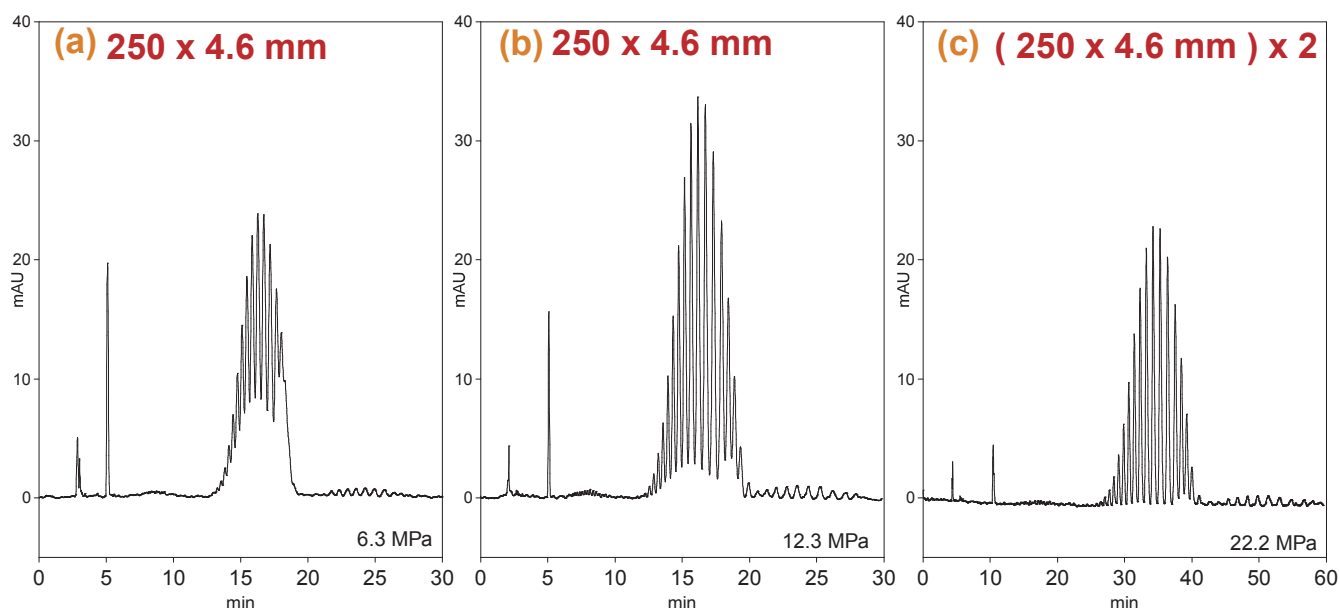
Technical

界面活性剤の高性能分離

Conventional 5 μ m ODS

Cadenza CD-C18

Cadenza CD-C18



Triton X-100

ACN/water = 65/35, 0.8 mL/min, UV at 254 nm

界面活性剤であるTriton X-100は重合度の異なるポリオキシエチレン鎖を含み、ODSカラムでは分離が困難な化合物のひとつです。

図(a)は一般的5 μ m ODSカラムによる分離で、重合度差の認識は不十分です。図(b)のように、Cadenza CD-C18ではこの分離が格段に改善されています。さらに図(c)ではCadenzaを2本接続することにより、ほぼ完全分離が達成できています。

Cadenza CD-C18は固定相の特性として、従来よりも分子認識能が優れており、さらに250 x 4.6 mmカラムは出荷時約5万段という抜群のカラム効率を有することから、Triton X-100においてもオキシエチレン鎖の認識が改善できているものと考えられます。

Cadenza CD-C18は、高分離能が必要な逆相分析モードの歴史をさらに前進させる高性能カラムです。